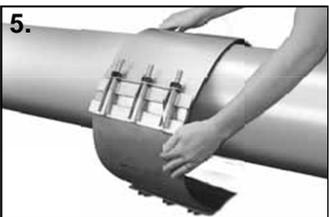
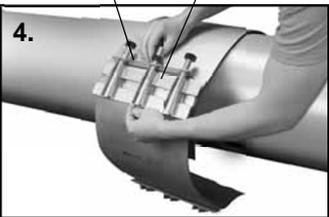
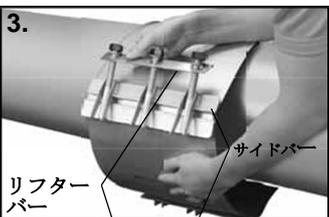


# 前田式リペアクランプ 取扱説明書



## 施工上の注意

- 取付け前にパイプの外径を確認して、正しいサイズのクランプを選んでいるかご確認下さい。
- パイプ表面の泥などをきれいに除き滑らかな面を作ってください。
- 取付ける前にクランプのガスケット面及びパイプに滑剤を塗布するとより作業性が良くなります。
- ボルトのネジは、フッ化カーボンでコーティングして、ボルトとナット間の焼き付きを防止しておりますが、締め付けを容易にする為、ネジ部に異物が付かぬようにしてください。
- パイプメーカーの指示書に従って、埋設しクランプ設置部分の土を注意深く固めてください。

## 取付け手順

1. クランプを平らな台に置き、ガスケットを下向けにし、サイドバー（ラッグ側）部分を台のエッジにさせるようにして置きます。（写真-1）  
クランプが動かないように手のひらで抑えながら、ラッグの先を下方に押し、サイドバーの後ろに十分な隙間が空くまでバンドを曲げる。クランプの反対側（ボルト側）も同じ作業を行います。  
使用するクランプの数だけ同じ作業を繰り返します。
2. クランプを取り付ける本管の曲率に沿って曲げます。（写真-2）  
注：最大限に止水するために、損傷部一か所につき最低二つ以上バンドを使用する（バンド組合せにつき下表参照）。  
注：ガスケットのグリッド部分がパイプの損傷箇所を完全に覆っているかを確認する。ガスケットのテーパー部分、及びバンドのアーマーは損傷箇所に被せないように注意する。
3. バンドのボルトを繋げるもう一方のバンドのラッグの間に入れます。（写真-3）
4. バンドのリフターバーを繋げるもう一方のバンドのサイドバーの裏側に引っ掛け、ナットを軽く手で締めてバンドどうしを繋げます。  
使用するバンドの数だけ同じ作業を繰り返し、バンドをすべて繋げてください。クランプを本管に取付けた後の調整を可能にするため、繋げたバンドのサイドバーの間にアーマーが十分に見える程度に隙間を空けておきます。（写真-4）
5. 使用するバンドを繋げ終わったらここで本管に取り付けます。  
繋げたバンドのボルト側を本管の上部で持ち上げ、バンドのラッグ側をパイプの下に滑らせて一周巻き付けます。（写真-5）
6. 一周回ったらパイプの上部でボルト側とラッグ側を合わせます。  
その際、接続部を作業し易い位置に置きます。ガスケットとアーマーがパイプに対してスムーズに設置されているかを、バンドをスライドさせて確認してください。（写真-6）
7. ボルト側とラッグ側の接続部でボルトがラッグの間に位置しているかを確認し、リフターバーをサイドバーの裏側に引っ掛けナットを手で締めます。
8. 全てのバンドのナットを均等に締め付けて、27mmのソケットにて、少しずつ対角でトルクを105N・mまで締め付け完了です。（写真-7）

前田バルブ工業株式会社 〒455-0027 名古屋市港区船見町 29 番 1

電話: 052-618-3800 FAX: 052-618-3801 <http://www.mvk.co.jp>